



3 2023年3月号
Vol.514

緊 密

ビジネスリーダーのための情報誌

BESTパートナー
大樹生命
日本生命グループ[®]
つなぐ
~信頼を拡げ、未来を拓く~



MONTHLY FEATURE

小学校の廃校舎に開業しているブナ製品(ブナコ)のショップ



小学校跡地で管楽器の修理を学ぶ学生

MONTHLY FEATURE

淡路島の新観光名所
「癒し」と「食」がテーマの
アクア・アイグニス淡路島

Pick Up! Resort

各地で模索、廃校の有効活用
貴重な地域の財産を
地域活性化の武器に

MONTHLY FEATURE



企業組合丹沢ホーム 理事長 中村道也氏

Special Talk スペシャルトーク

丹沢の自然とともに生きる
**山小屋から発信する
共生の思い**

ブナの木の加工しにくさを独自の技術で克服し、エコロジカルでユニークなフォルムのブナ製品（ブナコ）を生み出している青森県弘前市のブナコ株式会社。2015年に廃校となつた旧西目屋中学校跡地への移転によって空き施設となつた旧西目屋小学校校舎に、同社は2017年4月、体验型の工場をオープンしました。

同社はその当時、海外の展示会でランプシェードが高評価を得ており、ホテル・旅館や商業施設などから大型ランプシェードの受注を受ける機会が増えましたが、テーブルウェアをメインに製造していた当時の工場で大型ランプシェードの製作は困難で、製造スペースの確保が課題でした。

そんな折、同小学校跡地のことを知り、西目屋村と協議。代表取締役の倉田昌直氏は「ものづくりを通じて、



ブナコの照明やテーブルウェアで彩られたブナコカフェ



職人が製造に携わる作業室として使っている教室。黒板や机がそのまま残っている

パソコンの回収・再生・販売を開するリングロー株式会社（東京都豊島区）は、廃校を地域の人たちが集い、交流するIT交流拠点として活用する「おかえり集学校プロジェクト」を推進。2022年末時点では全国13県の廃校に「集学校」を開校し、2023年以降も順次拡大して全都道府県での開校を目指しています。

小さな村（人口1300人弱）を産業観光化できる」との思いも重なり、工場開設を決断しました。

かつての教室は製造工程ごとの作業室となつており、6つの工程を自由に見学可能。廊下側には見学しやすいように大きな窓が設けられています。このほか、器や小物入れをつくれる製作体験コーナーやブナコのオリジナルスピーカーの音を体感できる視聴室、ブナコの照明やテーブルウェアで彩られたカフェなどが観光客を出迎えます（要問い合わせ）。

不要になつたパソコンなどのOA機器を回収してリユースし、卸販売している同社。ただし、そうした中古パソコンなどが流通しているのは大都市部を中心。「なかなか行き届かない地方の住民に中古機器をアピールするBtoC戦略として考えたのが全国で増えている廃校の活用でした」と代表取締役の碇敏之氏は話します。

2017年4月に開校した山形県最上郡舟形町の長沢集学校（旧長沢小学校）では校舎



子ども向け「でこぼこひろば」（富山県中新川郡立山町の谷口集学校）



地元住民向けに開催しているパソコン教室のようす（広島県竹原市の忠海集学校）

見学施設やカフェ併設の「ブナコ工場」

～青森県中津軽郡西目屋村
ブナコ西目屋工場

IT交流施設を多地域展開

～山形県最上郡舟形町ほか
おかえり集学校プロジェクト

内にIT機器の相談に応じる「今日室」やフリードリンクでくつろげる「わカフェ」、小学校の歴代の文集や卒業アルバムなどを展示する「古部屋」などを設置して住民に開放し、住民の会合や企業のセミナーなど向けに教室の貸し出しもしています。同時にOA機器の販売や相談、不要になつた機器の回収を行っています。

「地域のITリテラシー向上に加え、交流の場としても地域の方や行政関係者に歓迎してもらっています」と碇氏は好感触を得ています。